

～此花区制100周年～

みやくみやくと!

100年 このはな

此花区は2025年(令和7年)4月1日に100歳を迎えます。

みやくみやく(脈々・ミヤクミヤク)と続いてきた、続いて行く、このはなのお話。



これから先の100年・未来につなごう
安心して住み続けられる街
災害に強い「このはな」をめざして



此花区制100周年
ロゴマーク

日本は
自然災害が
発生しやすい国
ですよね。



災害に対する備えを
することはもちろん、
災害が起こった時に
被害を最小限に防ぐ
ことも大事だね。



此花区でも
自分たちの地域を
自らの手で守るために
活動に取り組んでいる
人たちがいますね。

▼ 実際に活動に取り組まれている方にお聞きしました



岩見 博之さん
淀川左岸水防事務組合
此花区本部長

HP



Q水防団の活動内容を教えてください。

此花区には10の水防団があり、災害時の水防活動、災害に備えた管理施設の点検と水防訓練などを行っています。

Q水防団を始めたきっかけを教えてください。

約40年前に町会活動を始めたことをきっかけに予備団員に誘われました。

Q課題は何ですか？

「水防団」に対する認知度が低いこと。入ってもらおうと、体験や演習により災害の知識が身につく、水防の大切さがあるが、なかなかそこまで至っておらず、まずは知ってもらうことが大事かと思っています。

最後に一言メッセージ

水防の体験などを通じて、一緒に災害のことを考えたり、いざという時に動ける知識を身につけてほしい。

また、区内在住区外在勤者、区外在住区内在勤者などの中間層を含むさまざまな方が水防団に参加していただくことで、災害に強い街づくりができていくと思います。



【問合せ】淀川左岸水防事務組合 ☎072-841-2310



清瀬 泰三さん
桜島地域防災リーダー隊長
此花水防団第8分団長

HP



Q地域防災リーダーの活動内容を教えてください。

桜島地域では、月1回の班長会議、年1回の防災訓練を実施し、災害に対する意識づけの定着化を図っています。

Q地域防災リーダーを始めたきっかけを教えてください。

40代の頃から地域活動に参加していましたが当時は仕事が忙しく、60代になり本格的に活動を始め、桜島連合の自治会会長に加え、地域防災リーダー隊長も兼任するようになりました。

Q課題は何ですか？

今の中心は70・80代。40代から60代に取り組みを継承したいが、仕事と家庭で忙しいのも理解ができるが担い手の問題は深刻です。実際の災害時に本当に動けるか、断水になったらトイレをどうするのかなど、災害に遭っていない中でみんなに実感を持ってもらうことが難しいのも深刻な課題です。

最後に一言メッセージ

今までやってきたことをつなぐ・引き継ぐことが大事だと考え、定期的に訓練をし、身体に覚えこませるよう意識して取り組んでいます。「自助」⇒「共助」⇒「公助」を防災標語として大事にし、まずは自分を守り、自分たちで何とかする、そこに自治体のサポートがあるということを根付かしていきたいです。

【問合せ】まちづくり推進課(危機管理) ☎6466-9508



一人一人が行う「自助」、地域住民の助け合いによる「共助」、自治体が行う「公助」、それぞれの役割を認識し、最大限の力を活かし、一体となって地域の防災力を高めていくことが、災害から生命を守るうえで必要です。みなさんの「共助」の力を発揮してみませんか？



今月の
ポイント

防災のために、このような地域コミュニティの
取り組みは欠かせないですね。
また、いざというときに素早く判断し行動するために、
一人ひとりが日ごろから防災意識を高めていくこと
も大切ですね。



此花区PR大使 徳永 ゆうき さん